



第100期中間経営報告書

2021年4月1日から2021年9月30日まで

CREATIVE CONNECTIVITY

トップメッセージ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ第100期中間期（2021年4月1日～2021年9月30日）の事業の概況、業績等につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2021年11月

代表取締役社長 池田 靖光

当中間期における世界経済は、ワクチン接種の広がりにより新型コロナウイルスの感染拡大に一定の歯止めがかけられ、全体としては緩やかに回復することとなりました。しかし、各国のワクチン接種率の格差や感染力の強い変異株の出現は、ウィズコロナ下で経済活動に一定の制約を課すこととなりました。米中対立の激化、中国経済の減速、原油価格上昇、半導体不足などの不安定要因も並存し、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、車載市場では、コネクタ、カメラモジュール、操作ユニットなどが好調で前年を上回りました。一方、情報通信市場ではコネクタがタブレット用は順調に拡大しましたが、スマートフォン用が減少し前年を下回りました。家電市場では住設用ユニットは好調でしたがセットトップボックス用リモコンが減少し、前年を下回りました。

このような状況のもと、当社は新型コロナウイルス感染対策

や部材調達と在庫管理を徹底し、積極的な新製品の投入とコスト削減に努めた結果、当中間期における連結売上高は増収となりましたが、営業利益は減益、経常利益および当期純利益は増益となりました。

かかる環境下で、当社は持続的な成長に向け、新規ビジネス・新規市場の開拓やパートナーとの協業、オープンイノベーションの推進による新規事業創出への取り組みを進めております。

当社はこれからも、「CREATIVE CONNECTIVITY－Challenge, Creativity, Solutions」というスローガンのもと、社会やお客様の様々な課題を解決するチャレンジ精神をもち、独創的なアイデアを創出するクリエイティビティを發揮し、課題を解決するソリューションを提供することにより、より良い社会と未来の創出に貢献できる企業を目指してまいります。

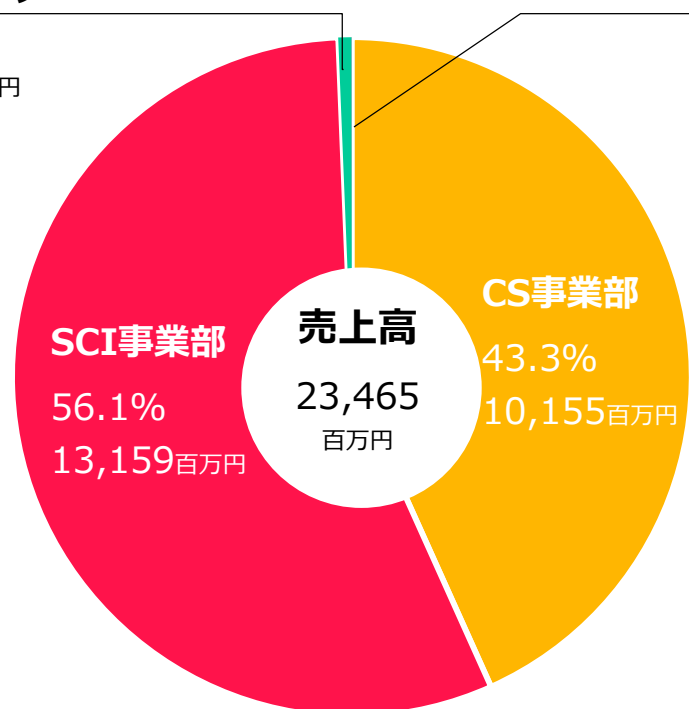
事業部門別の概況

開発センター

0.6%
147百万円

その他

0.0%
3百万円



※ その他：その他部品事業、リース事業、不動産賃貸事業及び労働者派遣事業を含んでおります。

開発センター

Research & Development Center

主要製品

無線モジュール



開発センターの主力事業、無線通信モジュールの売上の中心であるBluetooth®モジュールにおいて医療機器用は拡大しましたが、モバイルプリンター用、決済端末用が減少し、前年をわずかに下回りました。



決算説明会資料のご案内

QRコードをクリックすると、2022年3月期第2
四半期決算説明会資料をご覧になれます。

CS事業部

Connection System Division

主要製品

同軸コネクタ

基板対基板
コネクタ

FPCコネクタ

ジャック



コネクタは、情報通信市場においては、リモートワークやオンライン授業の拡大に伴い米国得意先タブレット用は好調を継続しましたが、スマートフォン用が一部中国得意先の減産等により減少し、情報通信市場全体では前年を下回りました。車載市場では世界的な自動車生産の回復を追い風にカメラ用を中心に高水準の受注を持続し、前年を大きく上回る結果となりました。家電市場においては、ゲーム機用やTV用新規コネクタが引き続き好調に推移し、前年を上回りました。

SCI事業部

Sensing, Communication & Interface Division

主要製品

リモコン

スイッチ

カメラモジュール

タッチセンサー

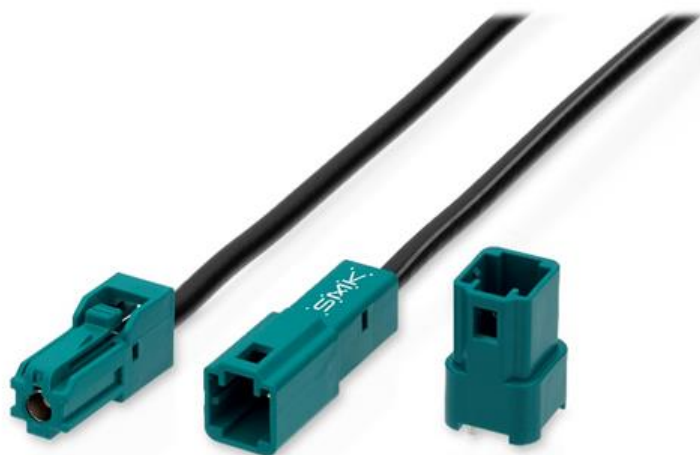


家電市場の主力のリモコンにおいて、サニタリー用は前年を上回りましたが、セットトップボックス用が減少し、家電市場全体では前年を下回りました。車載市場においては、中国や米国を中心に自動車生産が回復したことにより、カメラモジュール、操作ユニット、タッチセンサーなどの受注が好調に推移し、前年を上回る結果となりました。情報通信市場では、ウェアラブル用スイッチが堅調で前年を上回りました。

新製品・新技術ご紹介

車載向け小型同軸コネクタ「MH-2シリーズ」

CS事業部



自動車におけるカメラやアンテナ等の搭載数増加や高性能化に伴い、コネクタにも小型化や伝送性能向上が求められており、従来品と比較して体積比約30%ダウンを実現しつつ伝送性能の良い太径ケーブルにも対応した製品を開発しました。



<用途>

- ・車載アンテナ
- ・車載カメラの接続 など



詳細はこちら



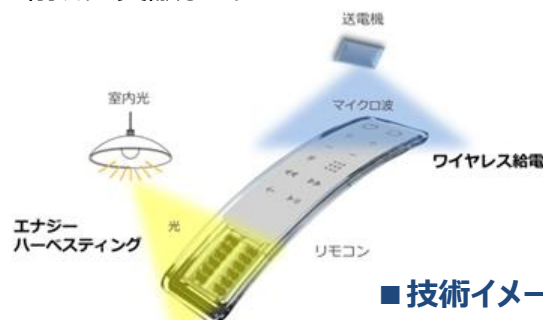
エネルギーハーベスティングとワイヤレス給電のハイブリッド技術

SCI事業部



参考イメージ

カーボンニュートラルの動きが世界的に加速している中、再生可能エネルギーを電力変換するエネルギーハーベスティングとマイクロ波を用いたワイヤレス給電のハイブリッド技術を確立し、CO2排出量削減に貢献します。



<用途>

- ・リモコン
- ・各種コントローラー など

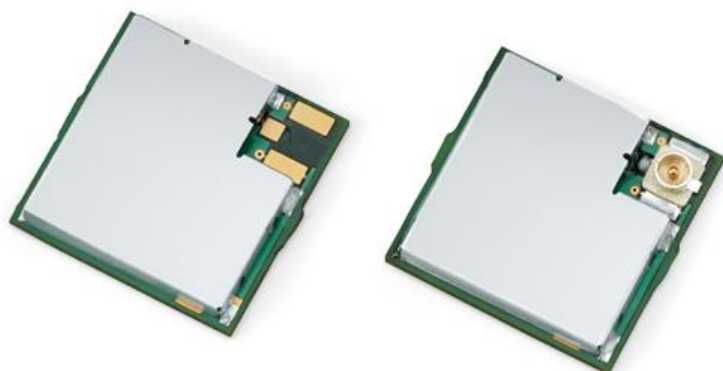


詳細はこちら



Sigfox/Sub-GHz RFモジュール「WF94xシリーズ」

開発センター



Sub-GHz帯（920MHz帯）を利用したSigfoxネットワークまたはSMK独自の通信方式に対応可能なRFモジュールです。



<用途>

- ・状態監視
- ・見守りサービス など



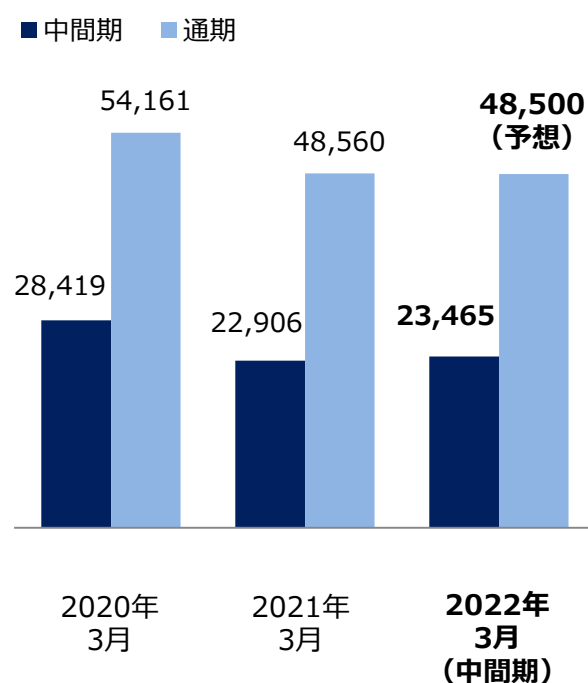
(※) 詳細はこちら



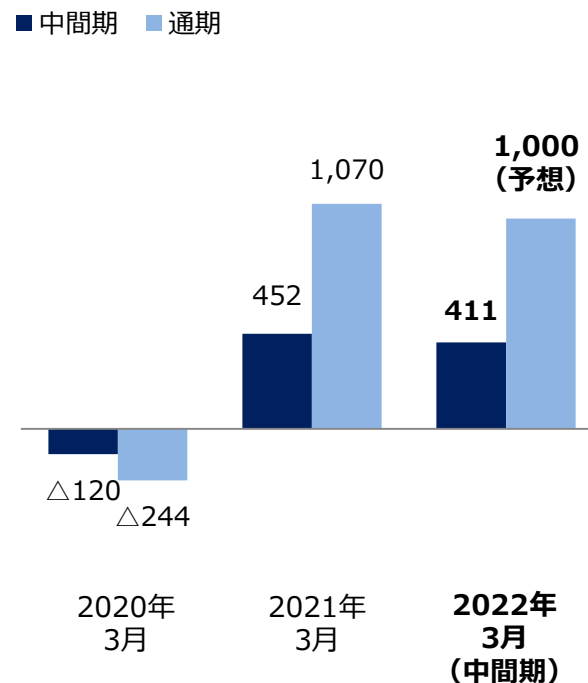
(※) 同シリーズの中から、RFモジュール「WF941」についての詳細をご覧いただけます。

連結財務データ

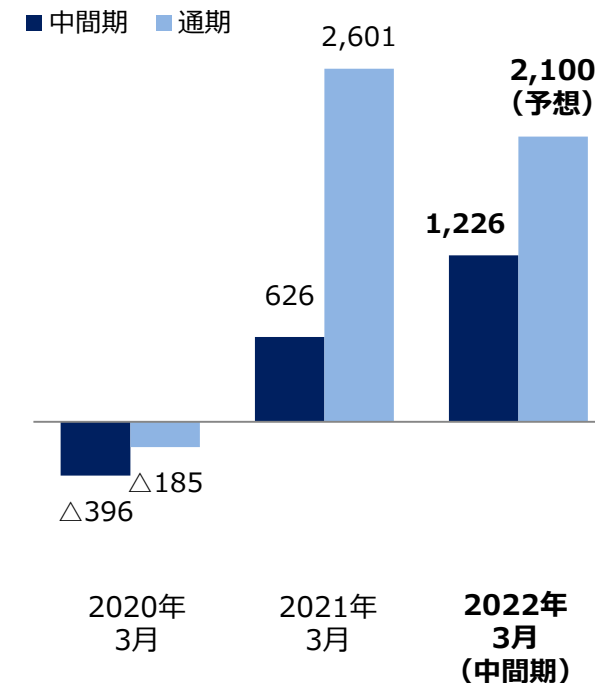
売上高 (単位：百万円)



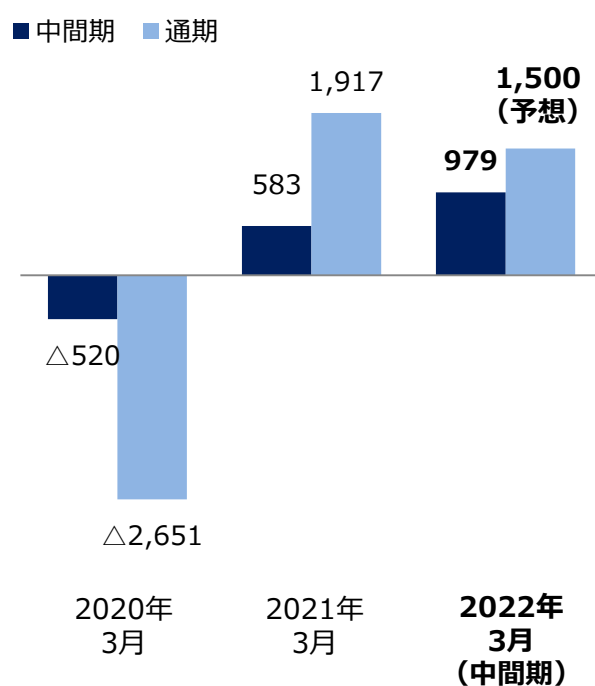
営業利益 (単位：百万円)



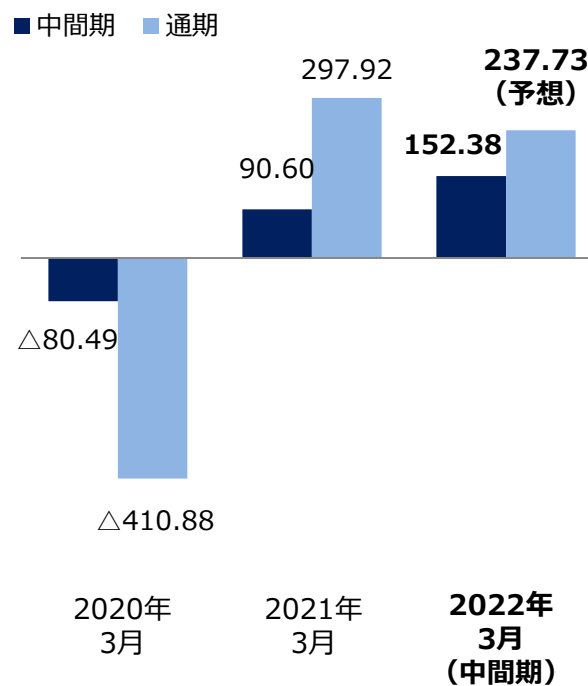
経常利益 (単位：百万円)



親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益 (単位：百万円)

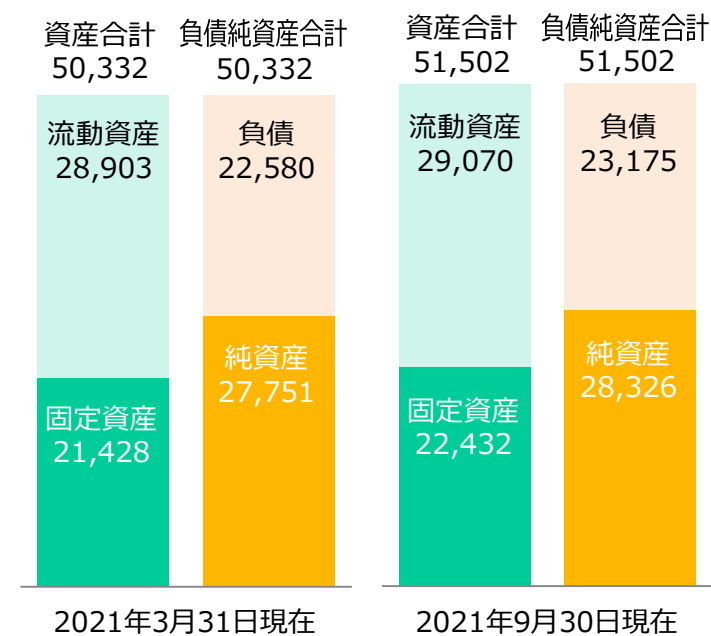


1株あたり四半期 (当期) 純利益 (単位：円)



連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



株式情報 (2021年9月30日現在)

発行可能株式総数	19,596,127株
発行済株式の総数	7,500,000株
株主数	6,217名

大株主（上位10名）

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	611	9.67
SMK協力業者持株会	436	6.91
日本生命保険相互会社	324	5.13
株式会社みずほ銀行	322	5.10
大日本印刷株式会社	320	5.06
SMK社員持株会	220	3.48
株式会社三菱UFJ銀行	192	3.05
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	163	2.58
公益財団法人昭和池田記念財団	150	2.37
三菱UFJ信託銀行株式会社	138	2.19

(注) 当社は自己株式1,178千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しており、また、上記持株比率は自己株式を控除して計算しております。なお、自己株式には役員株式給付信託が保有する当社株式43千株を含めております。

会社概要 (2021年9月30日現在)

商号	SMK株式会社
英文社名	SMK Corporation
創立	1925年4月3日
設立	1929年1月15日
資本金	7,996,828,021円
従業員数	連結5,100名
本社	〒142-8511 東京都品川区戸越6-5-5

役員一覧 (2021年9月30日現在)

取締役および監査役	氏名
代表取締役社長	池田 靖光
代表取締役副社長	角 芳幸
取締役常務執行役員	ポール・エヴァンス
取締役常務執行役員	原 哲雄
取締役（社外）	中村 利雄
取締役（社外）	石川 薫
常勤監査役（社外）	福井 盛一
監査役（社外）	中島 成
監査役（社外）	西村 文男

執行役員	氏名
常務執行役員	大垣 幸平
常務執行役員	池尾 政信
執行役員	石橋 竹己
執行役員	後藤 光彦
執行役員	増淵 充行
執行役員	宇佐美 博
執行役員	大日方 淳
執行役員	秦 史和
執行役員	大坪 実喜男

株式に関するお問合せ先・お手続き先

1. 配当金のお振込、単元未満株式の買取・買増請求、特別口座から証券会社の口座へのお振替、住所変更等のお手続き窓口は次のとおりです。

証券会社に口座を開設されている株主様	口座を開設された証券会社にご照会ください。
証券会社に口座を開設されていない（特別口座に記録されている）株主様	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部（0120-232-711 通話料無料）にご照会ください。

買取・買増請求制度の例（170株ご所有の場合）



2. 配当金をお受け取りになっていない株主様は、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部の電話照会先にご連絡ください。

SMK株式会社

〒142-8511 東京都品川区戸越6-5-5
TEL.03-3785-1111 FAX.03-3785-1068

※Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。SMK株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。

※その他記載されている社名・商品名などは、各社の商標および登録商標です。